



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊 ポケットあわじ



音めぐり いにしへの音・涼しげな音・

VOL.159

もくじ

P1 銅鐸 P2 夫婦滝 P3 水琴窟 P4 スズムシ P5 瓦の音さんぽ・グループ交流会
P6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

この銅鐸が南あわじ市の『玉青館』で展示されます。八月十六日まで



いにしへの音・銅鐸

5月に南あわじ市で銅鐸が7点も発見されたこと、新聞、テレビのニュースで大きく発表されました。日本考古学にとって、「数十年に一度の発見。」南あわじに住む人にとっても大ニュースです。銅鐸を見つけたマツモト産業株式会社 代表取締役 松本康宏さんにお話を伺いました。

副工場長から報告を受け銅鐸を見たとき「大変な物を見つけた！」とすぐ市役所に連絡。翌日、市の教育委員会の人や社員で、工場や土砂保管場所を調べていたところ、砂山に銅鐸が顔をのぞかせていたのが見つかったそうです。その後4月14日から23日までに入れ子の一組と一個が見つかりました。



砂山で銅鐸を発見！



何度も重機で扱われたのに壊れずに完璧な形で見つかったのはまさしく奇跡

砂を採掘する為に地表の土を寄せて砂地のところ1.5m程をパワーショベルで掘り、ダンプカーで中間保存所に運び、また重機で砂をすくいダンプカーで製造作業所へと運び、そこでパワーショベルですくったところ銅鐸が見つかったのです。何度も重機で扱われたのにあれだけ完璧な形で見つかったのは奇跡の中の奇跡です。第一発見者 副工場長の西田達さんは、最初ショベルカーのバケットの中で銅鐸の一部が見えた時は移植ゴテかなにかのゴミかと思い取り除



この中から銅鐸を見つけました！

こうと掴んだところ入れ子になっていた中の銅鐸が砂とともに落ち、舌(ぜつ)も二つ出たそうです。とっさに「教科書で見たことがある。」と思いスマートフォンで検索したそうです。



「銅鐸のマツモト産業さんでビジネスチャンスが増えました。」

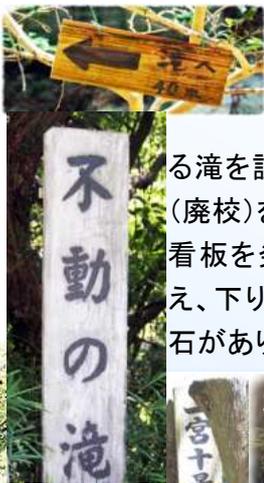
マツモト産業株式会社 代表取締役 松本康宏さん

銅鐸は弥生時代前期末～中期初頭の物で、一つは最古形の物です。高さは20～30cm、3組6個の「入れ子」状態で内部につるされて音を鳴らす青銅の『舌』振り子3本も見つかっています。入れ子のまま見つかった2組もCTスキャンで調べて『舌』が中にある事が報道されました。今回の7個は南あわじ市の西海岸沿いの松帆地区に一括して埋められていたとみられ、同地区の「中の御堂」では江戸時代に銅鐸8個の出土記録があり、古津路でも銅剣14本出土。いずれも作られた年代が近く、どんな関係があるのかとても興味深く思います。

応援隊：坂本 厚子・村上 紀代美・川原 雅代

緑あふれる涼空間に 響きわたる滝の音

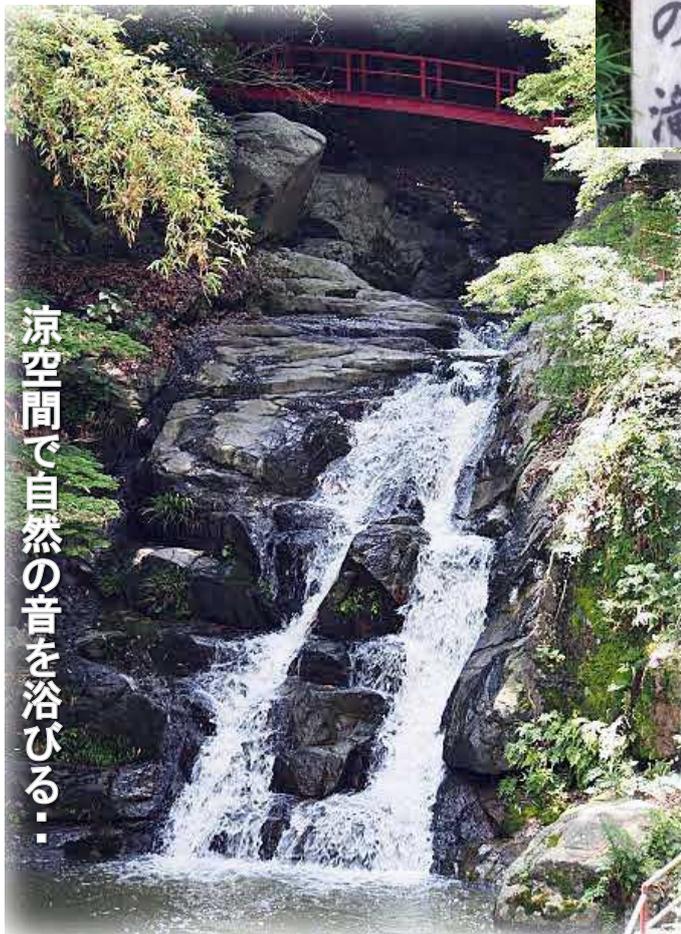
夫婦滝



梅雨の中休みに涼と癒しの音を求め、夫婦滝と呼ばれている山田川中流にある滝を訪れました。山田郵便局から山田小学校(廃校)を経て道路沿いに『不動の滝』と書かれた看板を発見し、車から降り立つと水の音が聞こえ、下りて行くと『一宮八景夫婦滝』と記された銘石があり、すぐに滝にたどり着きました。



神聖な滝空間



涼空間で自然の音を浴びる...

その名の通り、古くから流れ続ける二筋の流れが、離れることなく一つになって滝壺に落ちていました。落差5mほどの小さな滝ですが、昨日の雨の影響で水量も多く、静かな山の中で、どうどうと地響きを打たせて轟いて流れ落ちていく、その自然の水の流れの圧倒的な力強さと、モミジやタケなどの緑に囲まれたひんやりと湿った空間に差し込む陽の光の神聖さに、しばし時を忘れてしまうほどでした。また、下流側から夫婦滝を眺めると、緑深い山間に架かる赤い橋が趣ある景観を作りだしていて、ぜひ紅葉の季節にも訪れてみたいと思いました。



きれいに整備されている滝周辺

滝周辺には、不動明王を祀る御堂、鐘楼等もあり、よく整備されていました。地域の方が、この神聖な場所を大切にしていることが伝わってきて、気持ちよく滝見ができました。

探検 楽しいよ♪



さらに夫婦滝の上流に落差2mほどの小滝があり、子どもたちが登っていき探検していました。

ひんやりとした緑の隙間から光射す涼の空間で、全身に自然の圧倒的な音を浴びに、滝見に行かれてはどうか！！

日によって水量が違うので、前日が雨の日で、できれば晴れの日に行くことをおすすめします。 応援隊:池田 けい・藤本 法美



上流で探検

130年前に造られた水琴窟がある東田邸の庭

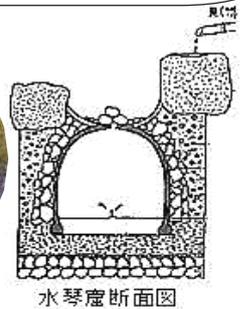


かめ
甕の中に響きわたる
涼しげな音



約400年前に
日本で考え出された音遊び
すいきんくつ
水琴窟

東田邸の水琴窟の音は1990年ごろ
三高のチャイム代わりに使われていました。



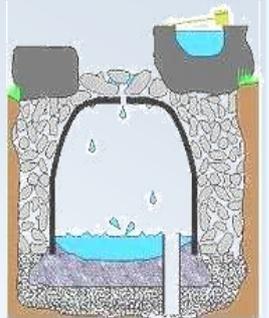
「水琴窟(すいきんくつ)」ってご存知でしょうか。日本庭園などで水音を楽しむための音響装置です。底に小さな穴を開けた甕(かめ)を逆さに埋め、そこから甕内に水滴を落下させて甕中に反響する音色を楽しみます。その音色が琴に似ていることから、いつしか「水琴窟」と呼ばれるようになったようです。

その水琴窟の発する音色はどのようなものでしょうか。島内に存在する三ヶ所の水琴窟の音色を聴いてきました。それぞれ水滴が落ちるたびに甕内に響いて言葉では言い表せない涼しげな音がしました。

まずは東田 雅彦さん宅を訪れました。東田さん宅の庭の水琴窟は母屋の玄関から左側の見事な庭の隅に設置されていました。30年前に発見して、調べてみると東田さんから数えて4代前の今から130年前に造られたそうです。その音色は1990年ごろ、県立三原

高校(現在は淡路三原高校)のチャイムの代わりに使われていたそうで、そのころ在学していた方はその音色を覚えているでしょうね。

あとの二ヶ所はいずれも淡路市にあり、一つは淡路夢舞台の温室「奇跡の星の植物館」展示室3(花と緑のある暮らし)内にあります。もう一つは「淡路景観園芸学校」の日本庭園内にあり、それぞれで約400年前に日本で考え出された音遊びを体験することができました。節を抜いた竹筒などを耳にあてて聴くと、なおよい音色が聞けるようです。ぜひ皆さんも水琴窟の涼しい音色を聴いてみませんか。



応援隊: 田処 壱久



淡路景観園芸学校
日本庭園内の水琴窟



節を抜いた竹筒などを
耳にあてて聴いてみましょう。



奇跡の星の植物館内の水琴窟



東田雅彦さん宅(洲本市千草己175)

電話0799-22-2295

奇跡の星の植物館

電話0799-74-1200

淡路景観園芸学校

電話0799-82-3131





スズムシ -秋の訪れ-

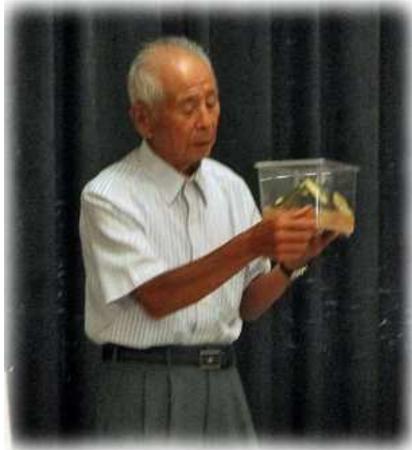


リーンリーン



淡路スズムシ学校

島内のスズムシ愛好家約180人が集い
スズムシについて学びました。



希望者にはスズムシの幼虫20匹が手渡されました。



★スズムシの
モデルルーム★

エサはキュウリやナス

スズムシ
大事に育ててね。

食後のエサは穴だらけ

成長期のスズムシは
食欲旺盛!



音めぐりの決め手はスズムシ!!

スズムシの鳴き声?いいえ、羽音です。リーン、リーンと雄が羽をすり合わせて雌にラブコールをする音です。

秋を知らせる音。秋が来た(近い)と感じる音=これが涼しさ!まさにこの時季だけの音です。

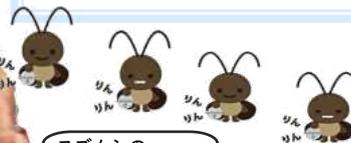
島内にスズムシの愛好家がこれほど多いことを去る7月5日、パーティゆづるはホールで開催された『淡路スズムシ学校』に参加して知りました。午前、午後の2回開催され、親子連れの方や老夫婦の方など幅広い年齢層の方、180人が来られていました。ご指導の先生からスズムシの特性や飼い方などのお話があり、質問も多く出ていました。

今年孵化した幼虫を持参した14人にスズムシ博士の認定証とバッジが送られました。私も1cmぐらいの幼虫20匹を持参して博士に認定されました。

希望者には5mm位の幼虫20匹が渡されました。9月ごろには成虫(1.5cmくらい)になって鳴き出します。成虫になるまでに6~7回脱皮します。羽が生えるのはいつごろでしょうか??

大きくなるにつれて、食欲も旺盛になり、餌のキュウリやナスが蜂の巣のように穴が開いています。野生の虫の声を聞くことが少なくなった現在、自分で育ててこそ、間近に涼やかな音色を聴くことができるのです。

元気に鳴くのは主に夜ですが昼間も時々。9月の暑い夜、ふと目を覚ますとリーンリーン「おやすみなさい。」朝はリーンリーン「おはよう。今日は涼しいよ。」昼間は少し静かです。一匹が鳴き出すと声を合わせてリーンリーン。これが涼しく感じる理由かもしれません。もうスズムシに夢中です。(1.2cmぐらいで、羽が生えているスズムシも見つけました。)これから産地直売所などで入手できるかもしれません。好きな方は飼育してはいかがでしょうか?
応援隊:米田 静子



スズムシの
涼やかな音色が
楽しみです。

約5ミリの幼虫20匹が入っています。



いろいろな種類の瓦をいろんなバチで
鳴らして瓦の音を楽しもう♪

瓦の音さんぽ

古い瓦ほど
深みのある
低い音がです



春に行われたイベントの様子



★瓦とは思えない豊かな音に感動★



瓦の音楽CD

瓦の木琴

瓦の音って聞いたことありますか？

数年前から、淡路島で受け継がれてきた文化に現代
アートを融合させて、もう一度光をあてようという試みで
淡路島アートフェスティバルが開催されています。

2013年に音楽家の野村誠さんとやぶくみさんが招
かれ、島のいろいろなものを鳴らして試す中で「瓦って
いい音がする！」と発見。これがきっかけで瓦の音楽プロ
ジェクトがスタートしたそうです。

瓦にはいろいろな種類があり、その種類ごとに鳴る音も
違います。1枚の瓦でもその叩く場所によって違う音が
鳴ったり、瓦が古いほど複雑で深みのある音が出るそう

です。そのいろいろな音をする瓦を組み合わせて楽器を
作り、音楽を奏でていきます。瓦をたたくバチ(木琴でい
うマレット)もユニークでゴルフボールや鹿の角などを
使っています。実際に音を聞かせて頂いたのですが、瓦
とは思えない豊かでいろいろな音がしました。

今年の花博に合わせ、瓦の産地津井(旧西淡町)でま
ちあるきプログラム「瓦の音さんぽ」も行われ600人の
方が実際に鳴らして瓦の音を楽しみました。瓦の音楽
CDも発売されていますし、今後もイベントなどで瓦の楽
器が登場しますので、ぜひ聴いてみてください。

応援隊: 浜田 泰美・岡 八代井

淡路生活創造活動グループ交流会 が開かれました！

7月11日(土) ご参加ありがとうございました！

7月11日(土)に一宮ふるさとセンターで、「平成27年度淡路文化会館生活創造活
動グループ交流会」が開催されました。

この交流会は、淡路文化会館の生活創造活動グループが年に1回七夕の頃、それ
ぞれのグループで取り組んでいることを、一堂に会して発表し合う中で、互いに交流
を深めていこうというものです。今年で14回を数えます。22グループ110名を超える
参加があり、音楽やダンスや劇などの発表、活動紹介、活動展示ととても盛りだくだ
んでした。年齢的にも子ども達からご年配まで幅広く、お互いにいろいろな活動を紹介
し合うことで新鮮な雰囲気を味わっていただけたと思います。

また、音響全般については「Tomitaya Music Club」さんに、手話通訳は「手話サー
クル津名」さんをお願いするなど、運営面でのご協力をいただけたことに感謝します。

例年行っている淡路文化会館の講堂とはまた違った雰囲気、コンパクトでアット
ホームな交流会となりました。これを機に、生活創造活動グループの活動がさらに活
発になることを願っています。(会館担当)



★淡路文化会館からののお知らせ（放送大学10月生募集・県民交流広場等のネットワーク化支援淡路地域会議）

放送大学10月生募集!

○放送大学では、平成27年度第2学期（10月入学）の学生を募集しています。放送大学は、テレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学などの幅広い分野を学べます。

◆出願期間：6月15日(月)～8月31日(月)
9月1日(火)～9月20日(日)

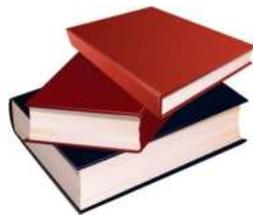
◆資料：無料

◆問合せ先：

放送大学兵庫学習センター
(078-805-0052)

放送大学姫路サテライト
スペース (079-284-5788)

※資料は淡路文化会館にも
あります。



島内にある52の県民交流広場に参加を呼び掛けて、地域コミュニティやその支援者等が、交流する中で、活動の成果やノウハウや課題等を共有し合う会です。多くの県民交流広場関係者のご参加を！！

◆日時：9月12日(土)

◆場所：洲本市文化体育館
会議室1A-1、1A-2
洲本市塩屋1-1-17

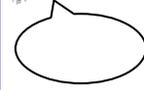
◆主催：淡路文化会館

◆共催：淡路県民局県民交流室

平成27年度
県民交流広場
等のネット
ワーク化支援
淡路地域
ネットワーク
会議



新しい生活創造活動応援隊のご紹介



小原 町子さん

よろしくお願ひします!

ポケットあわじは、HPでカラー版を是非ご覧ください。

★兵庫県淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島のお知らせ★

兵庫県淡路消費生活センターからののお知らせ

淡路島のまち・地域づくり活動を応援する

「プラットフォーム淡路島」からののお知らせ

消費者力アップリレーセミナー —受講生募集—

安全・安心な生活を送るため消費者力（理解・選択行動できる力）を高めるためセミナーを開催します。是非、ご参加ください。

回	テーマ	会場	日程
1	悪質業者に強くなる	南あわじ市	9/28
2	相続	南あわじ市	10/26
3	食品ロス問題とフードバンクの取り組み	洲本市	11/26
4	お得な節税のポイント	洲本市	12/16
5	スマホやネットに潜む危険	淡路市	1/27
6	ハーブ料理講座	淡路市	2/18

※ 詳しくは下記までお問い合わせください。

●参加費・・・無料（料理講座のみ実費必要）

●定員・・・各40名（先着順）※6回目のみ25名

●申込先・・・兵庫県淡路消費生活センター

〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5

Tel 0799-26-3360

Fax 0799-26-3090



次のラウンドテーブルは9月25日(金)夜、南あわじ市阿万地区、地域の取組と防災について。詳細は次号で。

文面にする怖さを感じながら私の「思(想)い」の一端を。

皆様は今、地域や街にどんな思いを持って暮らしているでしょうか? 「これで満足」、「もう少し何とかしたい・変えたい」、「衰退をくい止めたい」、「知名度を上げたい」等々。「何とかしたい」とは現状に甘んじたくはないと思っている現れで、まさしくそれが本会の動機であり、多くの方々にそんなチャンスを得て欲しいと願っているのです。地域・街づくりには人(財)とその知恵が必要です、勿論、金もですが。そんな地域の頑張り屋と思いを形にしたい行動者、客観的な目を持つヨソ者が多くの活動のヒントを与えてくれる。そんな彼らの多くの実績や議論の中から、自分の思いを地域・街の思いとし、協力者と一緒に、持続可能な近未来を語り、活動のヒントを与え続けるのが私達の役目。旨く行かなかったことしか残っていませんが、これが私達の財産。(清水記)

【申し込み・問い合わせ先】

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課内

TEL/0799-26-2043 FAX/0799-26-3090

メール/awajikem@pref.hyogo.lg.jp



場 所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	わくわく昆虫フェスタ 2015	~8/31(月) 10:00~17:00 (イベントにより異なる) ※ビジター棟他(7/11~8/23) 海のテラス休憩所(8/24~8/31)	料金はイベントにより異なります。 ※別途入園料・駐車料金が必要
	ヒマワリのつみとり体験	8/15(土)、16(日) 13:30~15:30 ※大地の虹花畑	参加料無料(お一人様5本まで持ち帰れます。) ※別途入園料・駐車料金が必要
	多肉植物の寄せ植え教室	8/22(土)、23(日) 10:00~15:00	参加料200円~(材料により異なります。) ※別途入園料・駐車料金が必要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00 (最終入館17:30)	踊って、歌って作ろう! 南の島のサマーカーニ バル~朝から夜まで植 物館夏まつり~	8/1(土)~8/16(日) 期間限定開館延長 9:00~ 21:00 (最終入館20:30)	入館料:大人600円、 65歳以上(要証明)300円、 高校生300円、 中学生以下無料
	キャプテンクックの庭 ~南の島の花園~	7/18(土)~9/27(日)	同上
	ゴンドワナ大陸の不思議 ~バンクスの庭&キャプ テンクック航海記	6/27(土)~9/27(日)	同上
市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	市民交流センター祭り ウェルカムコンサート かえっこパザール プール特別企画 インボディー測定 自衛隊広報ブース ブース出店(かき氷、ヨーヨー他)	8/23(日) 9:00~17:00	一部有料 主催 市民交流センター 後援 洲本市教育委員会 【問】市民交流センター 0799-24-4450
淡路人形座 「8月公演」 『火の見櫓』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1 地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072	【通常公演】 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 8/1(土)~31(月) 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「戎舞」「人形解説」「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 【夏休み特別企画】 8/1(土)~8/30(日)の土日(8/22を除く) バックステージツアー 11:00の公演を鑑賞された方、先着20名様限定 8/1(土)~8/31(月) 大人1名様ご入場につき子供3名(小学生以下)無料 【今月のトピックス】 8/8(土) 淡路人形座3周年記念特別公演 料金:通常公演と同じ 開場17:30 開演18:00 「式三番叟」「口上」「(公財)淡路人形協会理事長正井良徳氏による 演目解説」「妹背山婦女庭訓 入鹿御殿の段」~吉田新九朗 鱧七・お三輪 二役 早替わり 出遣いにて相勤め申し候~ 【休館日】 毎水曜日は定休日になります。 8/5、19、22、26、27 ※8/12(水)通常営業 8/22(土)、8/27(木)は臨時休館		

第3回淡路島くうみ講座「花と野菜たちの物語」

淡路花祭2015秋オープニング 同時開催予定

たまむら とよお
◆講師 玉村 豊男氏 (エッセイスト・画家)
 画家・文筆家の視点から、野に咲く花や大地で育まれる野菜たちの生命の美しさ、歴史、逸話等についてお話いただきます。
◆問合せ: (一財) 淡路島くうみ協会
 TEL:0799-24-2001 FAX:0799-25-2521

■ 日時
 平成27年9月19日(土)
 13:30~15:30 (開場:13:00)
 ■ 場所
 洲本市文化体育館(洲本市塩屋1-1-17)
 ■ 定員
 150名(無料)
 ※事前申込必要。定員になり次第締切。

場 所	イベント	日時・会場	料金等
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 同上	第35回 白美会作品展	8/14(金)~16(日) 10:00~17:00 初日は正午から、最終日 は16:00まで ※3階ギャラリー	鑑賞無料 【問】洲本市民工房 0799-22-3322
	淡路島・いのちのアート フェスティバル	8/22(土)、23(日) 初日は13:00~18:00、 最終日は10:00~16:00 ※3階ギャラリー	同上
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321	Photo Studio cadeau ロケ写真展	8/22(土)10:00~17:00 8/23(日) 9:00~16:00 会議室1A-1	鑑賞無料 【問】(株)富士スタジオ 0799-22-0161
市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	環境ポスターコンテスト 応募作品展示 ※世界環境デーにちなみ、幼児・ 小学生を対象に募集したポスター (受賞作品を含む)を展示	8/4(火)~29(土) ※アールギャラリー 9:00~21:00 月曜日休館	鑑賞無料 【問】市民交流センター 0799-24-4450
南あわじ市 滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成27年度 館蔵品展 I 黄檗宗祖隠元禅師一代記	~9月下旬 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜日休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロカード」 「のびのびパスポート」利用 可 【問】玉青館 0799-36-2314
	松帆銅鐸速報展	~8/16(日) 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜日休館	入場無料(速報展会場のみ) 【問】玉青館 0799-36-2314

**第七回 永田青嵐顕彰
全国俳句大会作品募集!**



今年も淡路島が生んだ偉人、永田青嵐を顕彰する俳句大会を開催します。俳句づくりを通じて正しい日本語を学ぶ機会として、多くの作品を募集します。

- ◆投句要領：未発表の新作1人2句以内
(有季定型・投句料無料)、本大会指定投句用紙または二百字詰原稿用紙に郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上ご郵送ください。(FAX・Eメール・ホームページからも可)
 - ◆選者：代表選者 稲畑 汀子先生(俳誌ホトトギス名誉主宰)
 - ◆投句締切：平成27年10月30日(金)まで
 - ◆表彰・発表：平成28年2月28日(日)
- <お問い合わせ> (一財)淡路島くにうみ協会 事業課
 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521
 Eメール awajishima@kuniumi.or.jp

編集だより

今月は音めぐりです。わが家の涼しげな音は、次女の部屋に吊るした風鈴です。チリリンと「暑いね~私の音を聞いて涼んで~」ととても可愛く涼しげな音を奏でてくれたり、チリリン、チリリンといつもより激しく鳴り響き「雨が降りそうだよー、窓が開けばなしたよー」と階下にも教えてくれる涼しげで賢い風鈴ちゃんです。私事ですが、アルバイト先のイングランドの丘の体験教室でも風鈴の絵付け体験が始まっています。夏休み、ぜひ遊びに来てくださいネ(^_^)-☆ (竹谷 香代)

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版で掲載しています。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp

